



概要

GPC-1900 は、Windows から、弊社 RAS モジュールの制御を行うためのソフトウェアです。弊社 RAS ボードを Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより制御します。ボード状態やイベントログをモニタリングできるユーティリティのほか、各言語によるサンプルプログラムが付属しています。

特長

●異常検出機能

・電源断検出機能

外部からの AC100V(PCI-1901A, PCI-1903)、AC24V(CTP-1902, CTP-1903, CPZ-1902, CPZ-1903, CPZ-191300)、PCI バスの DC+5V, DC+12V, DC-12V(PCI-1903)の電源断、CompactPCI バスの DC+3.3V, DC+5V, DC+5V5B, DC+12V, DC-12V(CTP-1902, CTP-1903, CPZ-1902, CPZ-1903, CPZ-191300)の電源断を検出します。

・温度上昇検出機能

ボード上の温度センサーにより、温度上昇を検出します。異常検出温度の設定は、ソフトウェアにより設定します。

・W.D.T.(ウォッチドッグタイマ)エラー

W.D.T.のタイムアウトを検出します。タイムアウトの間隔は、ソフトウェアで設定できます。

タイムアウト発生時、CPU をリセットする事でできます。(CPZ-191300 のみ、当社 CPU ボード使用時に限る)

・外部アラーム入力検出機能

外部デバイスからのアラーム信号を検出します。

●インターバルタイマ機能

弊社 RAS ボードは、インターバルタイマとして使われるタイマ/カウンタ回路を搭載しています。

一定時間毎に、コールバック関数を呼び出します。

●EEPROM(32768word × 8bit)へのログ機能 (PCI-1903, CTP-1903, CPZ-191300, CPZ-1903)

異常検出時、エラーステータスやイベントログが自動的に EEPROM へ書き込まれます。

●ユーザ関数のコールバック

異常発生時(電源断、ウォッチドッグタイマエラー、温度上昇エラー、外部入力エラー)、ユーザ定義関数が呼び出されます。

●階層化ドライバと各種統一、共通化により、DLL レベルでボード型式を意識する必要がありません。

(ボード固有機能は除く)。

●Windows XP, Windows 2000, Windows NT, Windows Me, Windows 98, Windows 95 の

Win32 アプリケーションから使用することができる DLL が用意されています。

●画面上で機能や使い方を説明するオンラインヘルプをサポートしていますので、開発中に関数の詳細説明など、簡単に参照することができます。

対応 OS

Windows11 x64
Windows Server 2016 64bit
Windows 10 IoT Enterprise x64
Windows 10 x64

対応言語

Microsoft Visual C++ 2015
Microsoft Visual C# 2015

注意事項

—